

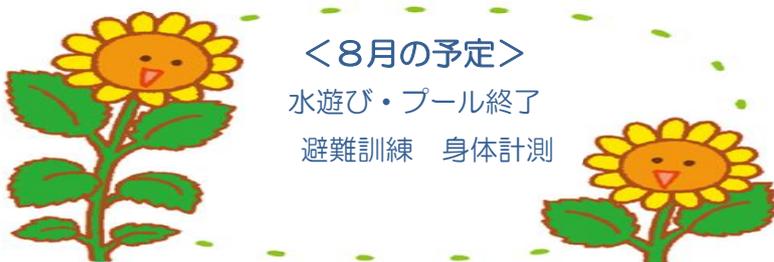


令和6年8月1日  
目黒区立駒場保育園 園長

先月2日に水遊びやプール活動が始まり、プールや2階のテラスからは子どもたちの楽しそうな声が聞こえてきます。今年は特に例年になく猛暑の日が多く、毎日熱中症警戒アラートの暑さ指数を計測して活動しています。各クラスの水遊びやプールで遊ぶ姿を見に行くと、どのクラスの子どもたちも顔や体に水しぶきを浴びながら水の感触を体中で楽しんでいます。初めて水遊びをする0歳児クラスの子どもたちも顔についた水滴に目をぱちぱちさせながら、更に水面を叩いて顔に水がかかることを楽しんでいました。1.2歳児の子どもたちはタライに浮かべた氷をすくってはカップに入れて氷屋さんになったり、色水を合わせてジュース屋さんになっています。初めて大きなプールに入る3歳児は、ちょっぴりこわさもあるかなと思っていましたが私たちの心配をよそに、始まる前からウキウキワクワクしている子どもたちでした。いざプールの中に足を入れると、とたんに「冷たい」という声が聞こえてきましたが、その時の顔はみんな笑顔でした。水の冷たさを感じながらも楽しい嬉しい気持ちが上回っているようでした。4.5歳児は昨年度の経験もあり、体を浮かしたり水の中で目をあけたりとプール遊びを満喫しています。

今年も地域の私立保育園の子どもたちに存分に夏の遊びを楽しんでもらおうと、園庭にプールを設置し開放しています。先日4歳児の子どもたちが来園しました。準備体操を終え、いざプールの中へ。最初は緊張している表情でしたが水の掛け合いや宝探しを楽しんでいました。帰る前に感想を聞くと「すごく楽しかった」「また来たい」と笑顔で話してくれました。

夏は心も体も大きく成長するといわれています。いろいろな経験を通して五感を使いながら、子どもたちの興味関心を引き出し、秋以降の活動に繋げていきたいと思えます。



### <8月の予定>

水遊び・プール終了  
避難訓練 身体計測

- \* 9月 引き渡し訓練  
詳細は後日、配信します。
- \* 10月 運動会  
2, 3, 4, 5歳児クラス  
園庭で行います。(雨天時第一中学校体育館)

### さくら組 収穫だより

育てている茄子ときゅうりが大豊作です。野菜が苦手な子もいますが、自分たちで育てて収穫した野菜には愛情があるようで、調理室まで大事に持って行き、届けています。おいしく味付けして給食に出してもらおうと、苦手なものでも自分で食べてみようとして口に運ぶ姿があります。食べられた時は嬉しそうに「お野菜全部食べたよー」と、みんなに報告しています。



### すみれ組 ピーラー活動

4月から、ピーラーで大根や人参の皮むきをしています。はじめは緊張した様子で、保育士と一緒にピーラーを持っていましたが、徐々に慣れてくると自分でむきたいと積極的になってきました。皮が硬いと力が必要だったり、すっと軽くむくことができたり、野菜の種類によって違いがあることに気づきました。全てむき終わると「全部できた」と満足気な表情の子どもたちです。



## 今月は0・1・2歳児クラスの水遊びや感触遊びの様子をお伝えします。

### ひよこ組 「お水 気持ちいいね」

タライに近づくと手のひらで水面をパシャパシャと叩く子どもたちです。水しぶきが顔にかかっても全く気にすることなく嬉しそうに笑顔を見せ「あー！」と大きな声が上がります。「楽しいね」と保育士が答えると、まるで“うん、たのしい！”と言っているかのように、また「あー！」と声を上げていました。保育士がジョーロを傾けシャワーのようにすると落ちてくる水をじっと見つめ、手を伸ばして触れようとしたり、水と玩具が入った洗面器をひっくり返してジャーッとこぼすことを繰り返し楽しんでいます。夏の間、楽しさや心地良さに共感しながら水の感触を十分に味わえるようにしていきたいと思います。



### ちゅうりっぷ組 「うわぁ たのしい〜」

「バシャバシャしよう」と声をかけると、みんな張り切ってテラスに向かいます。自らお気に入りの玩具を手に取るとカップやペットボトルに水を入れてジュース作りを楽しんでいます。最初は水しぶきが上がると驚いたような表情で、後ずさりしながらタライから離れていました。そこで、ひしゃくですくった水をそっと足にかけてみると、気持ちがよかったようで「あし〜」と言って足を前に出しています。もう一度水をかけると今度は反対の足を出して「あし〜」とリクエストしていました。何度も繰り返しているとジョーロを持ってきて隣にいた友達の足に水をかけては顔を見合わせて笑い合っています。慣れてくると、タライの水をバケツに汲んでは体にかけて、ダイナミックに楽しんでいます。



### たんぼぼ組 「どうなるかな やってみよう！」

テラスに出ると、思い思いに容器や玩具を手に取り遊び始めます。マヨネーズの容器にひしゃくで水を入れ始めた子がいました。容器の口は2センチ程しかなく、水を入れるのは難しいのですが、何度も水を汲んでは容器に入れようとしています。しばらくして、ひしゃくでは入らないと思ったようで、今度はプリンカップを使って水を入れてみます。それでも水が入らないと、次はジョウゴを使って挑戦していました。冷たい水の感触を楽しみながらも“こうしたらどうなるかな”と考えて試してみようとする姿がたくさん見られます。また、先日氷で遊んだときは、両手で氷を持つとその冷たさに初めは驚いていましたが、冷たくてツルツルした手触りに目を輝かせていました。氷をタライの中に入れて水に浮かぶ氷を手ですくっていると、いつの間にか溶けてなくなる氷に「なんでないの」と不思議そうです。これからも氷や色水、片栗粉など様々な感触に触れる中で、子どもたちの気づきを保育士も一緒に楽しんでいきたいと思います。

